学校番号	1008

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)古典基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究」（大修館）						
副教材等	「つながる・まとまる古文単語５００PLUS」　（いいずな書店） 「カラー版新国語便覧」（第一学習社） 「新精選古典文法三訂版」（東京書籍） 「完成 日本文学史ノート 三訂増補版」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考え、発言していくための活動を行います。
・多くの文章を通して、「読む能力」と「書く能力」をしっかりと身につけ、それらを活用して著者の考えを理解し、自身の考えを他者に上手に伝える力を身につけてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まで丁寧に取り組みましょう。
・授業中のノートについては、板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

現代とは異なる言葉を学ぶことで、今とは違う文化やモノの見方・考え方を知り、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育むことをめざす。
【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
教材を通して、今とは違う時代や文化に思いを寄せ、他者と意見を交わすなど、積極的な交流の時間を活用して、古典の世界に対する理解を深められるような基礎を身につけることができるようになる。
また、それに付随した知識や技能を、小テストなどを活用して高めていく。
【学びに向かう力、人間性等】
教材を通して、現代とは趣向の異なる表現を学ぶことで興味・関心を引き出し、言葉へのさらなる探究心を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代とは異なる国語について、適切に理解している。	他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げ、それらを発信するだけでなく他者の意見に耳を傾け、 協働することができる。	言葉を通して、自らの思いや考えを発信するだけではなくより深く言葉や文化を学ぶことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	話の展開を捉え、登場人物の心情を理解する。 ［教材］ 宇治拾遺物語 安倍晴明	a:「宇治拾遺物語」における文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。 b[読]説話という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 c:生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	ワークシート (ノート) 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
	話の展開を捉え、登場人物の心情を理解する。 ［教材］ 方丈記 行く河の流れ	a:「方丈記」における文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。 b[読]:方丈記」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート (ノート) 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
	歌物語の表現の特徴を理解し、物語を解釈する。 ［教材］ 伊勢物語 初冠(第一段)	a:「伊勢物語」に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 b[読]:歌物語という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 c:生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	ワークシート (ノート) 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
二学期	作者の考え方や自然観に触れる。 ［教材］ 枕草子(一) すさまじきもの 中納言参りたまひて	a:「枕草子」の読解を通して、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができている。 b[読]随想という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート (ノート) 定期考査 小テストト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
	「源氏物語」における登場人物の行動や心理を場面や状況に応じて的確に捉える。 ［教材］ 源氏物語 藤壺の入内	a:「源氏物語」の読解を通して、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができている。 b[読]:「源氏物語」の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート (ノート) 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認

	作品に表現された心情を読み取る。 ［教材］ 更級日記 源氏の五十余巻	a:「更級日記」の日記文学という文章の種類とその特徴について理解を深めることができている。 b[読]:日記文学という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができている。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート （ノート） 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
三学期	新たな表現を支える典故の力を理解する。 ［教材］ 塞翁馬	a:「塞翁馬」の故事成語という文章の種類とその特徴について理解を深めることができている。 b[読]:故事成語という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート （ノート） 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
	言語表現に託された生き方の表明を読み取る ［教材］ 桃花源記	a:「桃花源記」に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができている。 b[読]:「桃花源記」という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができている。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート （ノート） 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間